

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/ 松田 和秀  
編集者/ 教育・広報部

JR東日本労働組合

## 第5回 中央委員会開催

JR 東日本労働組合は2月3日、ホテルラングウッドにおいて全構成員と傍聴者の出席のもと第5回中央委員会が開催されました。

中央執行委員会を代表して佐藤中央執行委員長は、①「安全の確立について」②「2018 春季生活闘争に向けたたたかい」③「組織強化・拡大について」④「政治の動き」について話されました。

委員会質疑では、横浜選出の佐藤中央委員がトップで発言(要旨)し、横浜地本は200名組織を目指すために結成から変わらないスローガン「組合員一人ひとりが職場を拠点とし全員参加型の労働運動を通じて組織の強化・拡大を目指そう」で、業務は組織的に、組織は業務的に運動を作り出すために全員参加型の運動取り組み3名の平成採用者の加入で成果を出してきたこと。エルダー社員の労働条件・制度については多くの問題があり切実な声を集約している。横浜ではプロジェクトを結成し個人のみではなく分会の取り組みにするため現状認識させてきたが、なかなか変えることのできない現実には不安と苛立ちが蔓延している。この現実を変えるためにも本社に対して申し入れの検討を要請しました。



集約答弁(要旨)で生田書記長は、今ある JR 東日本会社の問題・課題を浮き彫りにさせた。安全問題について、日々発生をしている小さな事象の抽出し、解決をさせ、安全を作り出す・安全を第一とする企業風土・体質を作ることが近道であり、職場活動を通じた安全の確立に向け取り組みを進めていく。

2018 春闘は賃金の引き上げに全力をあげ「賃上げをしてくれ」でなく「賃上げするぞ」この変革を目指していきたい。JR 労働者の力の結集に挑戦し続け、その結集軸に私たち東日本ユニオンがなり、私たち一人ひとりが「賃上げを勝ち取るぞ」いう主体と結集軸とし、3月3日の春闘総決起集会の成功と春闘の要求満額を勝ち取っていきたい。

組織強化・拡大について、大会後5名の皆さんに加入していただき、結成以降今日までに29名の仲間の皆さんに加入していただいた。この事が示すように明確に選択される労働組合になった。

今、自民党一強体制のなかで、戦争できる国づくりが進み、憲法改正が現実味を帯びてきた。平和を守ることの判断が、今を生きる私たち一人ひとりに問われている。憲法9条を守ること、そしてあらゆる戦争政策に反対すること、このスタンスを持って行動していきたい。

最後に確実に組織が成長しているということを確認ができた中央委員会であった。決して奢ることなく愚直に職場活動を起点として一步一步さらなる前進をしていきたい。中央委員会の成功を確認し揺るぎない団結のもとで、目の前にある2018春闘に全力をあげて第6回定期大会まで全組合員でたたかい抜くことを確認しました。